



国土を整え、全力で備える
国土交通省中国地方整備局
浜田河川国道事務所

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau



2019年（平成31年）3月20日

お知らせ

資料提供先：

島根県政記者会、浜田記者クラブ、益田記者クラブ

山口県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政滝町クラブ

山陰道（須子～田万川）の道路計画 「須子～小浜」の対策案について皆さまのご意見をお聞かせください

山陰道（須子～田万川）のうち「須子～小浜」の道路計画について、地域の皆さまや道路を利用される方からご意見をお伺いし、道路計画に反映するためのアンケート調査及びヒアリング調査を行います。

○調査期間：（アンケート）平成31年3月27日（水）～平成31年5月17日（金）予定
※郵送配布の準備ができ次第、順次発送いたします（4月上旬頃からを予定）。

：（ヒアリング）平成31年6月下旬までに実施予定

○調査内容：須子～小浜間の対策案（別線バイパスルート帯案）を検討する際に配慮すべき（重要）と思う事項等 ※詳細は別添-1のとおり

○調査対象・実施方法（須子～小浜間）

調査区分	対象	実施方法
アンケート調査	地域住民の方	・ 郵送にて直接配付により実施（準備でき次第順次発送） 【配付地域】 益田市（旧益田市） 萩市（旧田万川町、旧須佐町）
	企業・事業所	・ 郵送にて直接配付により実施（準備でき次第順次発送） 【配付地域】 益田市（旧益田市） 萩市（旧田万川町、旧須佐町）
	道路利用者の方など	・ 道の駅、官公庁等（※注）にアンケート票を常設 ・ WEBアンケートを実施
ヒアリング調査	関係自治体や関係団体、物流・観光事業者のかたなど	・ 訪問等によりインタビュー形式のヒアリングを実施

（※注）道の駅、官公庁等のアンケート設置箇所は、別添-2のとおり

- **今回は須子～小浜間についてご意見を伺うものです。小浜～田万川間については有識者委員会意見を踏まえ、今後別線バイパス案含め検討を進め、別途意見聴取を実施予定です。**

問い合わせ先： 国土交通省 中国地方整備局 浜田河川国道事務所

副所長（道路） やまもと たかゆき 山本 孝行

【担当】 調査設計課長 ふじた しんじ 藤田 新治

電話番号 0855-22-2480(代表)

URL <http://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/>

山陰道 (須子~田万川) の計画に向けて

~「須子~小浜」の対策案について、みなさまのご意見をお聴かせください~

山陰道は、鳥取県鳥取市から島根県を經由し山口県下関市に至る総延長約380kmの高規格幹線道路※であり、山陰地方の地域経済の活性化、観光の振興、災害に強い道路ネットワークの確保を主な目的として整備を進めています。

今回のアンケートは、須子~田万川間のうち、須子~小浜間の対策案(別線バイパスルート帯案)を検討する際に配慮すべき(重要)と思う事項等について、ご意見を伺うものです。

前回に引き続き、本調査にご協力いただきますようお願いいたします。

※高規格幹線道路とは、全国的な自動車交通網を形成する自動車専用道路のことです。



平成28年11月~12月に実施した第1回意見聴取では、「交通の課題」、「地域の課題」、「山陰道が利用しやすい道路となるためのアイデアや整備をする上で配慮した方がよいこと」や「道路整備の必要性」について、約7,800件のご回答を頂きました。ご協力ありがとうございました。

今回の須子~小浜間のアンケートへの回答はQRコードからでも可能です。
また地域や道路・交通の状況と課題についても、国土交通省ホームページでご覧になれます。

国土交通省ホームページ

<http://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/sanindo/>

QRコード



■ 今回のアンケートの対象は、「須子~小浜」間です。



須子～小浜間の対策案について、別線バイパス3ルート帯（案）を検討しています。これについてご意見をお伺いします。

▶ 今回は須子～小浜間についてご意見を伺うものです。小浜～田万川間については有識者委員会意見を踏まえ、今後別線バイパス案含め検討を進め、別途意見聴取を実施予定です。



※ルート帯とは今後具体的にルートを計画する範囲のことで約500m幅で示しています。
 ※ルート帯に含まれるコントロールポイントは詳細ルートの検討時に配慮します。

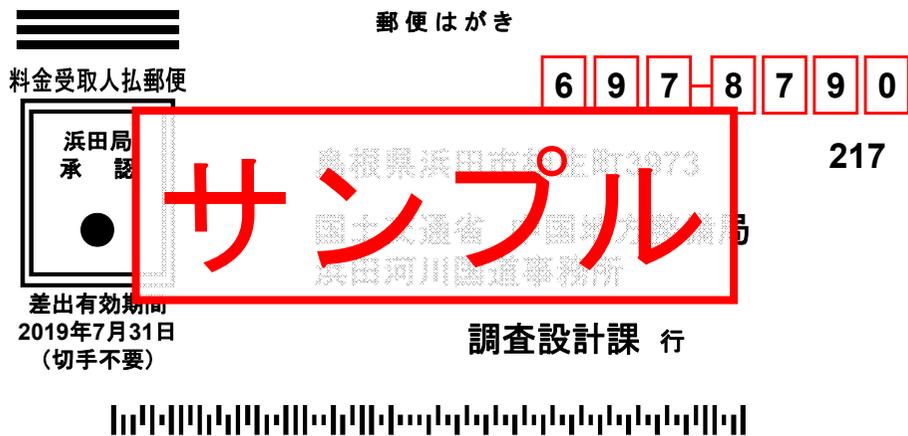
- 別線バイパス
- 【案A】須子～小浜間を最短で結びつつ萩・石見空港へのアクセス性を優先したバイパス案
 - 【案B】須子～小浜間を短く結びつつ産業拠点(石見臨空ファクトリーパーク・国営農地)へのアクセス性も考慮したバイパス案
 - 【案C】須子～小浜間の産業拠点(石見臨空ファクトリーパーク・国営農地)へのアクセス性を優先したバイパス案
 - 中間IC設置箇所案

須子～小浜間の別線バイパス3ルート帯（案）の特徴

区分	番号	評価のポイント	案A	案B	案C
			須子～小浜間を最短で結びつつ 萩・石見空港へのアクセス性を優先したバイパス案	須子～小浜間を短く結びつつ 産業拠点（石見臨空ファクトリーパーク・国営農地）への アクセス性も考慮したバイパス案	須子～小浜間の 産業拠点（石見臨空ファクトリーパーク・国営農地）への アクセス性を優先したバイパス案
			延長 約7.5 km	延長 約8.0 km	延長 約9.5 km
道路整備による効果・改善点	①	通行止め時の代替路が確保できること。	通行止め時の代替路が確保できる	通行止め時の代替路が確保できる	通行止め時の代替路が確保できる
	②	交通の安全性が向上できること。	交通の安全性が向上する	交通の安全性が向上する	交通の安全性が向上する
	③	主要な産業拠点（石見臨空ファクトリーパーク・国営農地）への速達性が向上できること。	■時間短縮 石見臨空ファクトリーパーク：短縮無し（萩方面） 短縮無し（益田方面） 国営農地：短縮無し（萩方面） 短縮無し（益田方面）	■時間短縮 石見臨空ファクトリーパーク：短縮無し（萩方面） 約1分短縮（益田方面） 国営農地：短縮無し（萩方面） 約1分短縮（益田方面）	■時間短縮 石見臨空ファクトリーパーク：約3分短縮（萩方面） 約6分短縮（益田方面） 国営農地：短縮無し（萩方面） 約2分短縮（益田方面）
	④	観光拠点（萩・石見空港）及び観光地間（益田～萩間）の速達性が向上できること。	■時間短縮 萩・石見空港：約6分短縮（萩方面） 短縮無し（津和野方面） 益田～萩間：約2分短縮	■時間短縮 萩・石見空港：約2分短縮（萩方面） 短縮無し（津和野方面） 益田～萩間：約3分短縮	■時間短縮 萩・石見空港：約1分短縮（萩方面） 約1分短縮（津和野方面） 益田～萩間：約2分短縮
	⑤	救急医療機関へ早く、確実に搬送できること。	■時間短縮 下田万地区：約2分短縮 中西地区：短縮無し ■確実性：優れる	■時間短縮 下田万地区：約2分短縮 中西地区：約2分短縮 ■確実性：優れる	■時間短縮 下田万地区：約1分短縮 中西地区：約2分短縮 ■確実性：優れる
配慮すべき事項	⑥	大気質や騒音等の生活環境への影響が改善すること。	交通の転換により、現道の沿道環境は改善が見込まれる	交通の転換により、現道の沿道環境は改善が見込まれる	交通の転換により、現道の沿道環境は改善が見込まれる
	⑦	自然環境への影響が小さいこと。	重要な自然環境を概ね回避するため影響は小さい	重要な自然環境を概ね回避するため影響は小さい	重要な自然環境を概ね回避するため影響は小さい
	⑧	移転等が必要な家屋が少ないこと。	家屋移転は少ない（7件）	家屋移転は少ない（6件）	家屋移転は少ない（6件）
	⑨	集落との連絡性に優れること。	小浜地区からの連絡性に優れる（小浜ICまで約1分） 中西地区からの連絡性に劣る（小浜ICまで約6分）	小浜地区の連絡性に優れる（小浜ICまで約1分） 中西地区の連絡性に劣る（中間ICまで約4分）	小浜地区の連絡性に優れる（小浜ICまで約1分） 中西地区の連絡性に優れる（中間ICまで約2分）
	⑩	工事中の交通規制等が少ないこと。	・現道での交通規制が多い ・萩・石見空港の空港施設への配慮が必要	現道の交通規制が少ない	現道の交通規制が少ない
	⑪	建設に要する費用が少ないこと。	約270～320億円	約340～390億円	約290～340億円
	⑫	維持管理に要する費用が少ないこと。	維持管理費は増加するが案Bより少ない	維持管理費が最も増加する	維持管理費は増加するが案Bより少ない

【 回答 が き 】

今後の手続きの流れ



◆あなた自身のことについて【記入または該当する番号に○をつけてください】

住所 〒 _____ 県 _____ 市・郡 _____ 町 _____

性別 ① 男性 ② 女性 年齢 _____ 歳代 _____

◆「須子～田万川間の国道191号」(以下「対象路線」)の普段の自動車利用状況について該当する番号に○をつけてください。

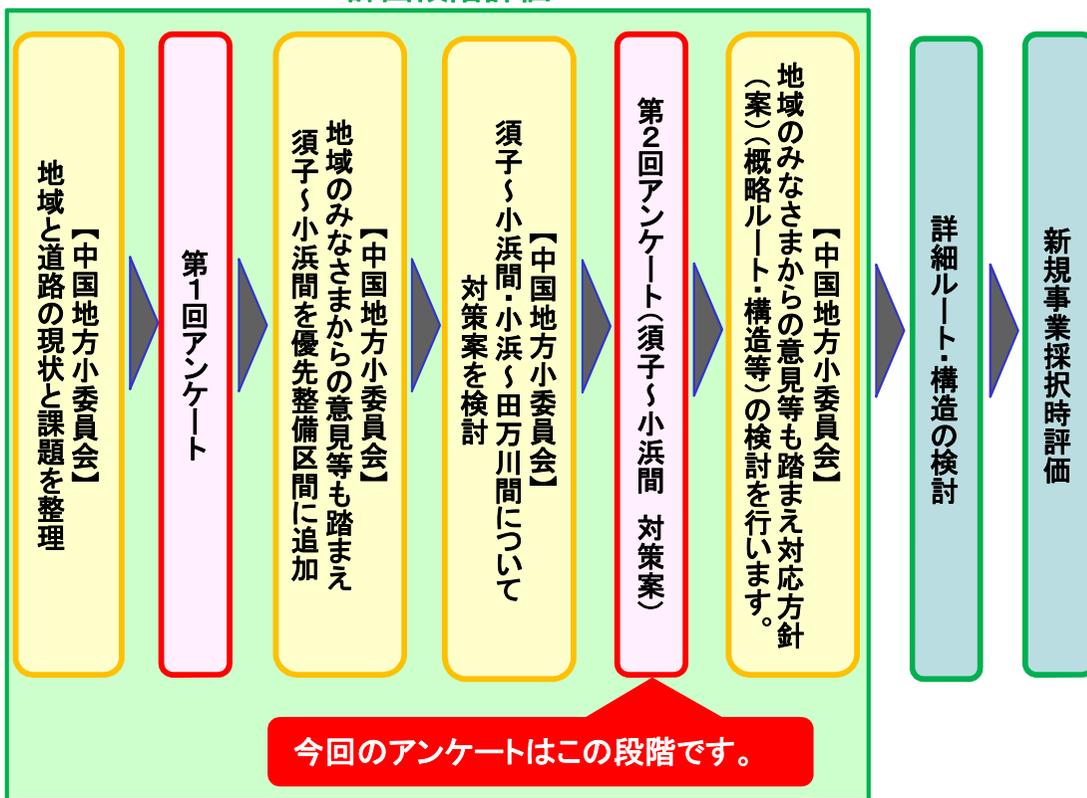
Q1. 現在の対象路線を自動車で利用する頻度を教えてください。
 ① ほぼ毎日 ② 週2～3回程度 ③ 月2～3回程度
 →①、②、③を選ばれた方は《下段》の質問へ
 ④ ほとんど利用しない ⑤ 利用したことがない
 →④、⑤を選ばれた方は《裏面》の質問へ

Q2. 対象路線の自動車による主な利用目的を教えてください。
 ① 通勤 ② 通学 ③ 買い物
 ④ 仕事 ⑤ 観光・レジャー ⑥ その他()

Q3. 主な目的地を教えてください。
 ① 益田市 ② 萩市(旧田万川町) ③ 萩市(旧須佐町)
 ④ 阿武町 ⑤ 萩市(旧萩市) ⑥ 萩市(その他)
 ⑦ 長門市 ⑧ 浜田市
 ⑨ その他() 《裏面》の質問へ→

※本アンケートでお答えいただいた意見および個人情報は、他の目的で使用したり、第三者に使用させたりすることは一切いたしません。 住

計画段階評価



※本アンケートでお答えいただいた個人情報は、厳重に管理するとともに、お答えいただいたご意見については今後の道路計画を検討する際の貴重なご意見として活用させていただきます。

アンケートのお問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局
 浜田河川国道事務所
 担当：調査設計課
 ☎0855-22-3129



安心で快適な
 地域づくりのために
 みなさまのご意見
 をお待ちしております。

【 質 問 票 】

(回答はがきに記載してください)

提示した須子～小浜間の対策案(別線バイパスルート帯案)に対して、みなさまが配慮すべき(重要)と思う事項等についてご意見をいただき、対策案決定の参考にいたします。

質問1 今回、別線バイパス3ルート帯(案)を検討していますが、地域にとって望ましい案を考える際に、何が重要と思えますか。
以下の重視すべき項目①～⑬から特に配慮すべき(重要)と思われる項目について最大3つまで選んで頂き、番号とその理由や内容をお書き下さい。

- ① 通行止め時の代替路が確保できること。
- ② 交通の安全性が向上できること。
- ③ 主要な産業拠点(石見臨空ファクトリーパーク・国営農地)への速達性が向上できること。
- ④ 観光拠点(萩・石見空港)及び観光地間(益田～萩間)の速達性が向上できること。
- ⑤ 救急医療機関へ早く、確実に搬送できること。
- ⑥ 大気質や騒音等の生活環境への影響が改善すること。
- ⑦ 自然環境への影響が小さいこと。
- ⑧ 移転等が必要な家屋が少ないこと。
- ⑨ 集落との連絡性に優れること。
- ⑩ 工事中の交通規制等が少ないこと。
- ⑪ 建設に要する費用が少ないこと。
- ⑫ 維持管理に要する費用が少ないこと。
- ⑬ その他(上記以外で重視すべき項目についてご自由にお書き下さい)

質問2 道路整備をすることによる懸念事項や配慮した方が良いと思う事項(周辺への影響、経済性、拠点等)について意見などありましたら、ご自由にお書き下さい。

質問は以上です。ありがとうございました。

■回答方法 回答は、右記の返信用はがきに記入し、切り取って郵便ポストに投函して下さい

【 回 答 は が き 】

(質問票をご覧ください回答してください)

(質問1)
左記の重視すべき項目①～⑬のうち、特に配慮すべき(重要)と思われる項目について、番号とその理由・内容をお書きください。

特に重視すべき項目の番号	特に配慮すべき(重要)と思われる理由・内容

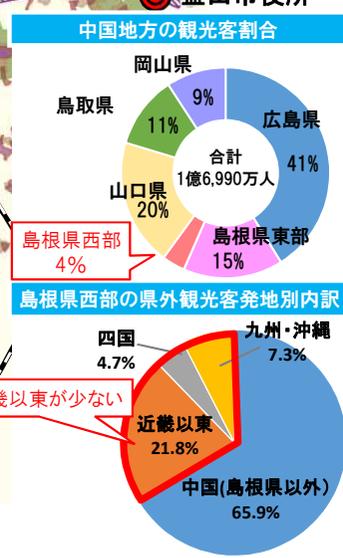
(質問2)
道路整備をすることによる懸念事項や配慮した方が良いと思う事項(周辺への影響、経済性、拠点等)について意見などありましたら、ご自由にお書き下さい。

(参考) 須子～田万川間の地域・道路の課題

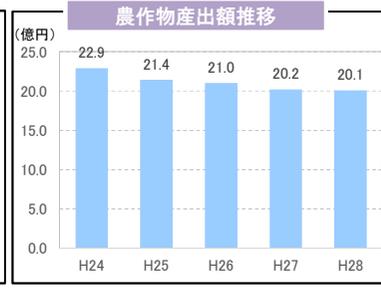
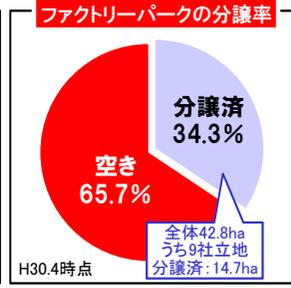
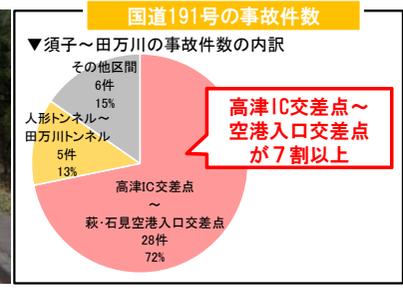
項目	災害	道路構造	産業	観光	救急医療
地域の課題・道路	<ul style="list-style-type: none"> 要防災対策箇所、飛砂区間、土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域が点在。 昭和58年災害、平成25年災害では、崩落や浸水による長時間の通行止めが発生。 通行止め発生時には、大幅な迂回を強いられ市民生活及び企業活動に支障。 	<ul style="list-style-type: none"> 高津IC交差点～萩・石見空港入口交差点間で、死傷事故が集中。 小浜～田万川間で、道路構造の不良箇所、幅員狭小トンネルが点在。 小浜～田万川間で、道路構造不良区間及びトンネル内で死亡事故が発生。 	<ul style="list-style-type: none"> 益田市の特産農作物の販路拡大が進んでいない。 石見臨空ファクトリーパークの分譲率は34%と企業立地が進んでいない。 アクセス道路の確実性、走行性、速達性の低さが、企業立地や事業拡大及び販路拡大の支障。 	<ul style="list-style-type: none"> 島根県西部地域の観光入込客数は少なく、観光ツアーも空白地となっている。 萩市を訪れる九州や関東等の観光客が、島根県西部地域まで周遊を行わない。 観光地間の移動時間の長さや、空港へのアクセスのしにくさが、観光ツアー設定や、個人旅行者の周遊観光の支障。 	<ul style="list-style-type: none"> 萩市の須佐地区、田万川地区及び阿武町には救急搬送に30分以上を要する高次救急医療の空白地あり。 通行規制時の迂回や急カーブ等による患者への負担増加。 高津IC入口交差点付近の渋滞により救急医療機関への到着時間遅延リスクが発生。



凡例	
▲	平面線形不良箇所(R=150m未満)
—	縦断線形不良箇所(>5%)
⊗	要防災対策箇所
×	災害による通行規制発生箇所(H19～H28)
×	事故による通行止め発生箇所(H19～H28)
★	死亡事故発生箇所(H19～H28)
⊗	死傷事故率が全国平均を上回る区間
↔	速度低下区間(旅行速度20km/h以下区間)
■	洪水浸水想定区域
+	高次医療施設



凡例	
■	土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)
■	土砂災害警戒区域(土石流)
■	土砂災害警戒区域(地すべり)



第1回意見聴取にご協力いただきありがとうございました。 みなさまにお聴きしたご意見の結果（概要）を以下のとおり、お知らせします。

○地域住民の方や道路を利用される方などから、7,826件の回答をいただきました。

■アンケート結果

交通課題

全体の回答の約5割が、「交通安全や道路構造に課題を感じている」と回答している。

産業	0.04%
観光	1%
医療	2%
防災	12%
交通安全	46%
渋滞	1%
道路構造	24%
アクセシビリティ	7%
早期整備	4%
地方創生	1%
その他	12%

n=2,690

【アンケート自由意見】

- ・人形トンネルは暗くて幅員も狭く感じる。雨天の時はトンネル内にも水が入りスリップしそうで危険を感じることもある。（住民）
- ・アップダウン、カーブの連続でいつも以上に運転の気が抜けない（住民）

改善すべき地域の課題

全体の回答の約8割が、「②事故や災害時の企業活動への妨げ」、「④広域観光連携の妨げ」「⑤地域の安全・安心の確保の妨げ」を改善すべき地域の課題としている。

課題	強く思う	やや思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答
①農業の振興への妨げ	41%	31%	72%	14%	6%	2%
②事故や災害時の企業活動への妨げ	58%	25%	83%	7%	3%	6%
③企業誘致の妨げ	50%	26%	76%	12%	4%	7%
④広域観光連携の妨げ	58%	24%	82%	7%	4%	6%
⑤地域の安全・安心の確保の妨げ	62%	23%	85%	5%	3%	6%

(n=7,826)

■ヒアリング結果（企業等）

改善すべき地域の課題

全体の回答の約7割が、「アクセス改善を望む」と回答している。また、産業振興や観光振興を望む声も多数存在している。

- ・工場間輸送等で周辺道路(雁丁線や国道191号)を使うため、小浜～石見空港ファクトリーの結節にも十分留意してほしい。どのように出入りができるようになるかが大事である。（製造業）
- ・萩・石見空港は萩への来訪のゲートウェイとして重要であり、山陰道による移動の効率化により、萩石見空港から入り、萩を周遊し、山口宇部空港から出るといった、観光ルートを選択肢の向上を期待している。（観光協会）
- ・国営農地ではぶどう農家が直接販売を行っており、他所から買いに来る人がいる。また観光客が来やすいことも重要である。そのため、国営農地など生産・販売場所へのアクセスも考慮して検討していただきたい。（JA）

産業	53%
観光	26%
医療	9%
防災	36%
交通安全	9%
渋滞	0%
道路構造	15%
アクセシビリティ	70%
早期整備	9%
地方創生	15%
その他	0%

n=57団体うち47団体

拠点(空港・工業団地・道の駅等)アクセス	79%
既存の高速道路との連続性	67%
観光施設アクセス	18%
短時間移動	15%

・アクセシビリティに関する意見の内訳は、「拠点アクセス」や、「既存の高速道路との連続性」の回答が大半。

皆様からいただいたご意見を踏まえた5つの政策目標を設定しました。

通行止め時の ネットワークの確保



- ・通行止め時に代替路が確保できること。
- ・要防災対策箇所及び洪水浸水想定区域を改善又は回避し災害時でも確実に通行できること。

安全性・走行性の向上



- ・構造不良箇所が改善され安全性、走行性が向上できること。
- ・死傷事故率が全国平均を上回る箇所を改善または回避し安全性が向上できること。

産業の活性化



- ・交通混雑の緩和と回避ができ、企業活動や農産品輸送を支援する速達性が向上できること。

観光振興の促進



- ・交通混雑の緩和と回避ができ、観光地間の周遊を支援する速達性が向上できること。

救急医療機関への速達性、 確実性の確保



- ・交通混雑の緩和と回避ができ、救急医療機関への速達性が向上できること。
- ・代替路が確保され、救急医療機関への搬送の確実性が向上できること。

皆様から頂いたご意見を踏まえ、山陰道（須子～田万川）における配慮すべき事項を設定しました。

配慮すべき主な意見

排気ガスが住民に影響しない工夫をして欲しい。

なるべく自然を壊さず、環境変化の少ないものにして下さい。

住宅等の立ち退き移転により地元に残らず利便性を求め市内に移住され(転居)住民の流出が多くなる事が寂しい。

市街地、集落から山陰道に乗りやすくなるようICの場所を考慮する。

工事中(整備中)における交通の緩和。スムーズな車両の通行。

施工費を抑えて、早期開通を望みます。

維持、更新コストがなるべく少なくなる様な道として下さい。総人口が減少する中、将来世代の負担が軽くなることを望みます。

評価ポイント

道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと

自然環境への影響が少ないこと

移転等が必要な家屋が少ないこと

集落との連絡性が向上すること

工事中の交通規制等が少ないこと

建設に要する費用が少ないこと

維持管理に要する費用が少ないこと

配慮すべき点 (評価項目)

生活環境

自然環境

生活への影響

工事の影響

経済性への配慮

維持管理への配慮

アンケート設置箇所（予定）

別添-2

管理番号	県	市町村	施設名
1	島根県	浜田市	浜田市役所 本庁
2			浜田市役所 金城支所
3			浜田市役所 旭支所
4			浜田市役所 弥栄支所
5			浜田市役所 三隅支所
6			島根県 浜田県土整備事務所
7			「道の駅」 ゆうひパーク浜田
8			「道の駅」 ゆうひパーク三隅
9		益田市	益田市役所 本庁
10			益田市役所 美都総合支所
11			益田市役所 匹見総合支所
12			島根県 益田県土整備事務所
13			「道の駅」 サンエイト美都
14			「道の駅」 匹見峡
15		津和野町	津和野町役場 本庁
16			津和野町役場 津和野庁舎
17			「道の駅」 シルクウェイ日原
18			「道の駅」 津和野温泉なごみの里
19	山口県	萩市	萩市役所 本庁
20			萩市役所 川上総合事務所
21			萩市役所 田万川総合事務所
22			萩市役所 むつみ総合事務所
23			萩市役所 須佐総合事務所
24			萩市役所 旭総合事務所
25			萩市役所 福栄総合事務所
26			山口県 萩土木建築事務所
27			「道の駅」 ゆとりパークたまがわ
28			「道の駅」 萩しーまーと
29			「道の駅」 萩往還
30			「道の駅」 萩さんさん三見
31			「道の駅」 ハピネスふくえ
32			「道の駅」 うり坊の郷
33			「道の駅」 あさひ
34			阿武町
35		阿武町役場 福賀支所	
36		阿武町役場 宇田郷支所	
37		「道の駅」 阿武町	
38	国土交通省浜田河川国道事務所		
39	国土交通省山口河川国道事務所		